

特別な日の着物

結婚式や記念パーティ、祝賀会。
年初めの習い事、卒業式や入学式。
そう何度とない晴れ舞台に、
ここぞという装いを。
純和装の着物はいかがでしょう



年末感謝祭

12月20日(金) - 25日(水)
Open AM10:00 - Close PM7:00

特撰 絵羽の市

黒留袖・色留袖
礼装用訪問着・
おしやれ訪問着
袋帯・和装小物

今回お勧めするのは、絵羽もの（着物の仮仕立てになっていて）商品です。それと袋帯、帯あげ、帯締めといった和装小物に草履など。本日はお二人の違ったシチュエーションでお見立てをしようと思えます。

お一人目（30代女性、結婚式）

ご親戚の結婚が決まったとのお知らせを聞かれ、お洋服にするか、和服にしようか迷っていらっしやいます。お洋服だったら、こんな感じのものと希望がおりのようなです。洋服といえば、やっぱり流行のデザインや体型にあったシルエツトがきれいなものが良いですよ。お洋服が決まると、次に靴、そしてバッグ。それからアクセサリーと、お好きなアイテムをコーディネートするのに、色んな

お店を巡って候補をいくつも探されています。当店では結婚式にお勧めするアイテムといえば、「訪問着」・「付け下げ」・「色無地」です。この違いは何か言いますと、訪問着は着物が一枚の絵のように柄付けがしてある着物。付け下げは訪問着の柄付けをもっと簡略化して要素のみ残した着物。そして色無地は、言葉の通りですが、無地の着物です。結婚式のような〇〇式がいった場では、色無地だったら一つ紋付のように、格式をグレードアップさせた着物を御召し頂くのが王道です。着姿はというと、訪問着は柄が一枚の絵のように入っておりますので、とても豪華な感じがします。付け下げはそれに比較すると、少し抑えて控えめな感じ。色無地はシンプルな感じ

日本の着物というのは、不思議なもので、着ている方の品格を表すことも多々ありますが、一番重視されるのは、相手の方に失礼のないようにということに重きをもって作られています。それは、古くから伝わる日本の文化なのだと思います。それを証拠に留袖や訪問着などの礼装用の着物の柄には、おめでたい由縁をもつ柄が全体に広がっています。いわば、それを着ること自体が、その場におられる主催者をはじめ、参列者や関係者すべての方に対して、「めでたい」「お祝い」の意味をもつようになっていきます。そして着る方も、心からのおめでたい気持ちを表しているのです。

お客様からいろいろお話やお好み、ご要望などお聞きして、シンプルさよりも、華やかさがある方がよいこと、そして一回きりではなくて、今後を着れるような着物が良いということで、ある二

枚の訪問着に候補を絞り込みます。一枚は加賀友禅の訪問着です。落ち着いた色合いに、特有の優しい自然の景色を模した素敵なお着物です。



もう一枚は京友禅の着物。こちらも色鮮やかな力のある画に御所車があしらわれています。どちらもとってもお顔映りがよくて、お顔がぱつと明るくなります。大人の女性の雰囲気のものにも華やかさがあり、とっても素敵です。御召しになる時は長襦袢の白衿がお顔に一番近いところにくるので、もつとキリッとお似合いです。と思います。そして今度は袋帯をあわせてみます。





唐織の薄い色のキレイな帯揚げ
亀甲柄に織られた上品な帯
派手すぎず、地味すぎず、品を
保っていて、この組み合わせで
すと、これからしばらく御召し
頂けるのではと思います。



どちらを合わせても良い雰囲気です
イメージがガラリと変わります。

七宝の柄の中に花をあしらった袋帯と、流水の地紋に色々な柄が織り上げられている袋帯を合わせてみます。どちらの帯も、両方の着物に合わせると品があります。七宝の袋帯は濃い色なので、コントラストが効いてはつきりとした組み合わせになります。金色がメインの方を合わせると、オーソドックスな「間違いのない」コーディネートです。どちらも甲乙つけがたいお着物と帯です。最終的には、お客様の好みで決まります。

今回のお見立ては加賀友禅の訪問着に七宝の柄の袋帯をメインに、次は帯あげと帯めです。フォーマルなので、華美ではなく、落ち着いていてかつ、品のいいものを合わせたいですね。こちらの着物と帯の組み合わせには、こんな帯と帯あげを合わせてみました。

お二人目（50代女性 持っている帯に）
以前、訪問着と袋帯とセットで購入したもので。これまで、好きで何回も着たことのある組み合わせ。最近と同じものを着るのに少し飽きが出てしまったとのこと、他の着物や帯といろいろ組み合わせを試してみたい。でも、お持ちのその帯は大変気に入っていただけるので、この帯をメインにお見立てです。御召しになる用途としては、お食事会やお出かけ用。おしゃれものが良いけど、フォーマルすぎないのはちょっと遠慮したいとのこと。そうなるお勧めなのは、紬の訪問着？もしくは、お染めの着物なら個人的な訪問着？もしくはと、いろいろ考えて、出ましたのがこちら、京友禅の訪問着と草木染の訪問着。薄い色に菊の柄がほどこされたもの。訪問着と言っても柄付けが少なめで、お持ちの帯が引き立ちそうです。そし

この度は、「年末感謝祭」です。お着物も帯も和装小物も今年最後のお買い得になっております。今回のお見立てでのコーディネート価格は次のようになります。



とても上品なのが特徴です。
お顔元にもびったり

加賀友禅訪問着	通常価格	特別価格
裏地・お仕立代	¥510,000	¥250,000
小計	¥50,000	¥50,000
消費税	¥560,000	¥300,000
合計	¥56,000	¥30,000
	¥616,000	¥330,000



はっきりとした柄で
インパクトがあります

黒地に七宝柄帯	通常価格	特別価格
袋帯お仕立代	¥298,000	¥150,000
小計	¥15,000	¥15,000
消費税	¥313,000	¥165,000
合計	¥31,300	¥16,500
	¥344,300	¥181,500



金や銀の帯を合わせても
とても良い装いになります

裾模様の訪問着	通常価格	特別価格
裏地・お仕立代	¥380,000	¥280,000
小計	¥50,000	¥50,000
消費税	¥430,000	¥330,000
合計	¥43,000	¥33,000
	¥473,000	¥363,000

期間中ご来店特典
コーディネートや試着をさせて頂いたお客様
年末ジャンボ宝くじ
これだ！という番号のくじを選んでくださいね！

年末感謝祭
12月20日(金) - 25日(水)
Open AM10:00 - Close PM7:00
伊と錦



全く雰囲気が違う着物
お好みでお選び頂けます。



てもう一方は、横柄の裾模様のモダンなタイプ。下染めに草木染をしてある一風変わった雰囲気。訪問着です。趣が全く違う二組の訪問着ですが、合わせる帯によって用途が広そうなので、友禅のタイプはいろいろお持ちのようなので、裾模様様の訪問着をメインにおすすめます。

※これまでのお話は、シミュレーションです。
ご希望等お気軽にご相談下さい。ぜひ期間中にどうぞ。